

第16回公開セミナー参加者募集

『床会グレードと床会式性能指向型施工要領書(案)』

第16回公開セミナー開催にあたって

日本床施工技術研究協議会は、床および床施工に関する学術・技術の進歩発展を目指すとともに、社会における床および床施工の正しい発展に寄与することを目的に平成6年(1994年)12月に発足しました。

平成15年(2003年)には念願であった「コンクリート床下地表面性状の測定方法およびグレード(案)」が纏まり、日本建築学会技術報告集第18号(2000年12月)にコンクリート床下地表面層部の諸品質の簡易測定、評価方法の提案として発表されました。

爾来、当協議会はこれをもとに「コンクリート床下地表面層部の諸品質の測定方法、グレード」と題するリーフレットを作成するなどし、建築工事の各種仕様書への導入を図り、広い範囲への普及を目指して活動を展開して参りました。その結果、平成16年には(社)公共建築協会の建築工事監理指針(平成16年版)19章内装工事の19.4.4施工管理の中に、下地コンクリートの管理方法として取り上げられました。また、JASS15(左官工事)3節床コンクリート直均し仕上げの15.3.2床面の仕上げの中でもこの簡易測定法を参考にするように記載されたことはご存知のとおりであります。

さらに平成22年(2010年)春に改訂された上記の建築工事監理指針(平成22年版)内装工事では本会のグレードが参考文献として掲載されたことも本会のみならず床関係者にとりまして特筆すべきことでありまし

た。

私どもは、ユーザーサイドから求められる要求グレードに対する標準施工方法を提案すべく、今後も研鑽を重ねながら様々な活動を続けて参りたいと考えております。

平成27年、日本建築学会は床の性能ごとに妥当な評価方法をまとめた「床性能評価指針」を纏めました。そこで平成28年より床の施工要領書づくりをスタートした本会としても、作成作業の進捗状況をご報告させていただくとともに、見直しの時期に来ている床会グレードについても今回、オンライン形式によるセミナーを開催し、皆様とともに考える機会を設けることとなりました。総合テーマは『床会グレードと床会式性能指向型施工要領書(案)』であります。

本セミナーは、床の設計・施工に携わる方々にとって、研究および産業の視点からも床の今を学習する絶好の機会であると私たちは考えております。

本セミナーの開催にあたり、床づくりに関わる一人でも多くの皆様のご参加を心よりご期待申し上げます。

令和3年8月吉日

日本床施工技術研究協議会 会長 横山 裕

第16回公開セミナー開催概要

- 開催日 2021年11月30日(火)
- 時 間 午後1時30分～5時
- 開催形式 Zoomウェビナー形式によるオンラインセミナー
- テーマ 『床会グレードと床会式性能指向型施工要領書(案)』
- 募集数 100名
- 参加費 無料
- 申込先 下記の申込書にご記入の上、11月12日(金)までに本会事務局(下記)宛にメール・郵送またはファックスにてお申し込み下さい。
事前にお申込(登録)がない方は受講できませんのでご注意ください。
※定員になり次第締め切らせていただきます。
■日本床施工技術研究協議会事務局／〒101-0026 東京都千代田区
神田佐久間河岸71-3柴田ビル5F (株)工文社内 TEL (03) 3866-3504
FAX (03) 3866-3858 Mail: kenji-kubo@asahi.email.ne.jp
- 協 賛 日本建築仕上材工業会、NPO湿式仕上げ技術センター、(一社)日本左官業組合連合会、(一社)日本塗装工業会、日本塗り床工業会、フリーアクセスフロア工業会、日本インテリア協会、ベストフロアー工業会、日本体育床下地工業会、(一社)全国土間業組合連合会、(一社)日本内装技能士会連合会

■開催主旨■

使用者の要求性能に過不足なく合致する床を提供するためには、適切な床下地材料および仕上げ材を選定するとともに、選定した材料が真価を発揮できるよう、施工条件を整える必要がある。

性能をキーワードとした床下地と仕上げ材の連動を可能とすべく、本会では、床下地の凹凸・不陸、表面強度、表層部の水分量について、測定方法とグレード(いわゆる『床会グレード』)を2003年12月に設定した。本会の期待どおり、床会グレードは、床に関係する様々な立場の設計者や監理者、管理者および施工者間の橋渡しツールとして活用していただけている。

さらに本会では、この床会グレードの活用方法の一例として、『性能指向型』と銘打った施工要領書の作成に、2016年より取りかかっている。単に作業手順を記した施工者のみを対象としたものではなく、施工に費やす労力と具現される性能の関係に言及した、設計者や監理者、管理者も常用できるものとする予定である。進捗は

順調で、研究者による学術研究成果を主体としつつ、職人や開発者の現業視点の知見を集約しているところである。

また、この過程において、床会グレードも見直し時期に来ていると考えるに至った。測定方法の変更ではなく、『物差しが目盛り』たるグレードの境界値について、より現場の実情に合致する追加を思案している。運用を重ね、知見が蓄積されたことによる、発展的なアップデートとご理解いただければ幸いである。

本セミナーでは、床会グレードのアップデート案と、施工要領書の進捗状況を報告させていただく。その後、現業の技術者である会員に施工上の要点を解説いただいたうえで施工要領書案に対する所見を忌憚なく述べていただき、改善の参考としたと考えている。

■内 容■

- 開催にあたって
床会式性能指向型施工要領書の目的と意義
東京工業大学 環境・社会理工学院建築学系 教授 横山 裕
- 床会グレードに関する新たな展開
東海大学 工学部建築学科 准教授 横井 健
- 下地コンクリートの水分計測
日本大学 生産工学部建築工学科 教授 湯浅 昇
- 床会式性能指向型施工要領書(案)の紹介
東京工業大学 環境・社会理工学院建築学系 准教授 三上貴正
- 床下地の施工要領書(案)に対する所見
モノリスコーポレーション(株) 代表取締役社長 亀井昭利
- 養生の施工要領書(案)に対する所見
戸田建設(株)建築工事技術部技術1課 課長 端 直人
- 張り床の施工要領書(案)に対する所見
(一社)日本内装仕上技能士会連合会 副会長 山本幸司
- 塗り床の施工要領書(案)に対する所見
ベストフロア工業会(株)建和 代表取締役社長 村松功朗
- まとめ
ものづくり大学 技能工芸学部建設学科 教授 高橋宏樹

第16回公開セミナー参加申込書

日本床施工技術研究協議会 行 Mail:kenji-kubo@asahi.email.ne.jp (FAX.03-3866-3858)

参加人数： 名

いずれかを○で囲んで下さい。

ご氏名：

(会 員 ・ 非 会 員)

貴社名または団体名：

ご住所：

電話：

FAX：

Mail：

※複数参加の場合は、代表者の氏名を本紙にお書きの上、別紙添付として参加者全員の氏名および所属(会社等)、参加者のメールアドレスを記した一覧表をご添付下さい。



第15回公開セミナーの風景（東京工業大学百年記念館「フェライト会議室」）



小俣一夫氏
本会前会長（現・名誉顧問）



横山 裕 先生
本会会長（東京工業大学教授）



高橋 宏樹 先生
（ものづくり大学教授）



三上 貴正 先生
（東京工業大学准教授）



湯浅 昇 先生
（日本大学教授）



横井 健 先生
（東海大学准教授）

日本床施工技術研究会開催の公開セミナー

本会では、これまで以下のような公開セミナーを開催しました。このほか、ほぼ毎年、総会後には学識者および業界関係者を講師にお招きし、特別講演会も開催しております。

- 第1回／1996年（平成8年）4月25日開催・東工大百年記念館「フェライト会議室」（出席170名）
★総合テーマ『最近の建築床と施工を考える』
- 第2回／1996年（平成8年）10月7日開催・東工大百年記念館「フェライト会議室」（出席100名）
★総合テーマ『体育施設床の現状と課題』
- 第3回／1998年（平成10年）6月22日開催・東工大百年記念館「フェライト会議室」（出席110名）
★総合テーマ『いま、建築床に何が求められるか』
- 第4回／2002年（平成14年）11月15日開催・東工大百年記念館「フェライト会議室」（出席100名）
★総合テーマ『床下地と床仕上に関する最近の動き』
- 第5回／2006年（平成18年）4月18日開催・東工大「デジタル多目的ホール」（出席137名）
★総合テーマ『要求性能に見合った床を合理的に作るために
―床会の「測定方法、グレード」を活用した床下地の品質管理―』
- 第6回／2009年（平成21年）4月28日・東工大百年記念館「フェライト会議室」（出席120名）
★総合テーマ『コンクリート中の水分を主題とした仕上り床材の不具合問題について』
―床の不具合と水分の関係について検討。―
- 第7回／2010年（平成22年）10月28日・東工大百年記念館「フェライト会議室」（出席130名）
★総合テーマ『床の施工と性能の関係について』
―床の凹凸、はがれ（耐久性）を中心に検討。―
- 第8回／2011年（平成23年）11月1日開催・東工大百年記念館「フェライト会議室」（出席111名）
★総合テーマ『不具合を起こさない床下地および仕上り材の施工品質』
- 第9回／2012年（平成24年）12月3日開催・東工大百年記念館「フェライト会議室」（出席87名）
★総合テーマ『床会グレードを活用した施工メニューの提案と現場での実践
―より良い床下地を作るためのチャレンジ―』
- 第10回／2013年（平成25年）11月7日開催・東工大百年記念館「フェライト会議室」（出席120名）
★総合テーマ『下地コンクリートの物性と床仕上材の不具合について
―より良い床作りに向けての課題と最新床情報―』
- 第11回／2014年（平成26年）11月11日開催・東京工業大学「くらまえホール」（出席135名）
★総合テーマ『わが国における床下地および床仕上り研究の軌跡と最新床技術動向
―より良い床づくりのために床会が刻んだ20年―』
- 第12回／2015年（平成27年）11月26日開催・東京工業大学「緑が丘6号館」（出席者105名）
★総合テーマ『床下地および各種床仕上りの技術的課題と展望』
―最新情報！わが国の床と床づくりに未来はあるか。―
- 第13回／2016年（平成28年）11月25日開催・東京工業大学「緑が丘6号館」（出席者130名）
★総合テーマ『床の性能評価と床施工要領書のあり方を考える』
- 第14回／2017年（平成29年）11月24日開催・東京工業大学「緑が丘6号館」（出席者120名）
★総合テーマ『床会式性能指向型施工要領書の作成に向けて』
- 第15回／2019年（令和元年）11月21日開催・東京工業大学百年記念館「フェライト会議室」（出席者128名）
★総合テーマ『性能志向型床施工要領書作成への道標と最新の開発、研究動向』